

造血幹細胞移植患者の筋酸素代謝と臨床所見との関連性の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	造血幹細胞移植患者の筋酸素代謝と臨床所見との関連性の検討
倫理審査受付番号	第2408号
研究期間	2016年 9月倫理審査承認日～2023年 9月 1日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に血液内科を受診された、造血幹細胞移植の患者さん 2009年10月30日～2016年12月15日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報、筋酸素動態
研究概要	(研究目的、意義) 近赤外線分光法 (Near-infrared spectroscopy: NIRS)では、運動中の下肢の疲労度合いなどを客観的に評価することが

	できます。しかし、NIRSによる筋有酸素能の評価方法は確立したものがなく、臨床分野における画一的な評価方法は確立されていません。我々の研究グループでは、健常人と造血幹細胞移植患者に対して、移植前後でNIRSによる筋有酸素能の評価を2009年より実施していました。測定方法は運動負荷中の筋酸素動態を測定しています。これまで測定されたNIRSパラメータとカルテ情報から得られる臨床所見との関連性を後ろ向きの解析により検討して、臨床的に有用なNIRSパラメータを特定することが本研究の目的です。 （研究の方法） NIRSで得られた、筋有酸素能の評価パラメータ（oxy-Hb deoxy-Hb total-Hb StO2)を健常人と移植前後で比較して、統計学的な有意差が得られたパラメータとカルテ情報から得られる臨床所見（疾患、移植形態、運動耐容能、筋力、疲労感、血液データ、栄養状態、投与薬量）との関連性を調査します。 （個人情報の取扱い） 収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部 道免 和久（研究責任者） 若杉 樹史（研究担当者） TEL （平日 9：00～16：45） 0798-45-6358 （上記時間以外） 0798-45-6111